

奈良市の姉妹都市「福島県郡山市」について

昭和46年、奈良市と郡山市は、それぞれに「采女伝説」が伝わっているご縁により、姉妹都市提携を結び50年以上になります。郡山市では、毎年8月上旬に「郡山うねめまつり」が開催され、市内の駅前大通りでは大勢の浴衣姿の市民らで賑わう「うねめ踊り流し」が繰り広げられるなど盛大に行われています。



「郡山うねめまつり」の様子(提供:郡山市)

福島県郡山市の「采女伝説」

奈良時代に陸奥の国安積の里(現郡山市)では冷害が続き朝廷への貢物ができず、奈良からの巡察使・葛城王が訪れた際、里長の娘、春姫を采女として献上することを条件に、貢物を3年間免除し、春姫を都に連れて帰りました。しかし、春姫には相思相愛の許婚があり、恋しくなった春姫は、中秋の名月の日に、猿沢池に身を投げたと見せかけて故郷へと向いましたが、許婚はすでに山の井清水に身を投げており、春姫もその後を追ったといわれています。

采女伝説・郡山
うねめまつり



「古都奈良の文化財」 世界遺産登録25周年記念

平成10年12月に「古都奈良の文化財」として東大寺・興福寺・春日大社・春日山原始林・元興寺・薬師寺・唐招提寺・平城宮跡が世界遺産に登録され、今年で25周年を迎えます。これを記念し、「六社寺共通拝観券」を販売するなど、その魅力を国内外に発信する事業が開催されています！

世界遺産「古都奈良の文化財」六社寺共通拝観券

- 料 金：1冊5,000円
(障害者手帳をお持ちの方 3,000円)
- 使用期間：2024年3月31日(日)まで
- 販売場所：奈良市総合観光案内所
近鉄奈良駅総合観光案内所 他
- 詳しくは▷<https://kotonara25.jp>



中秋の名月

お月見スイーツ×采女祭

開催期間

2023年 9月26日(火)～9月29日(金)

お月見スイーツも
楽しみよう!



采女祭
オリジナル絵馬が
もらえるよ!

采女祭特別企画に参加しよう!

その①

参加スイーツ店で、開催期間中(9/26～29)に企画対象の商品(お月見スイーツ)を含めて、1,000円(税込)以上ご購入いただくと、店舗にて妖怪書家「逢香(おうか)」さんデザインの采女祭オリジナル絵馬がもらえます。【先着400枚限定】

その②

絵馬に願い事を書いて、采女神社へ奉納ができます。または、記念にお持ち帰りください。
*采女神社には、絵馬に願い事を書いていただくための利用スペースは設けておりませんので、各自事前にご記入の上、ご奉納ください。

【注意点】

- 各店舗によって、販売期間が異なります。
- 1店舗1回の会計で1,000円(税込)以上ご購入いただいた場合となります。他店との合算はできません。
- 1店舗で2,000円以上ご購入いただいた場合でも、絵馬は1枚のお渡しとなります。



采女祭オリジナル絵馬
デザイン:妖怪書家 逢香(おうか)

企画・
問い合わせ先

采女祭保存会事務局(奈良市観光協会内)
TEL:0742-30-0230(平日:9:00～17:00)



中秋の名月「采女祭(うねめまつり)」行事ってなあに？

日本百名月

2020年に、「采女神社・猿沢池にのぼる月／采女祭」として、猿沢池と采女神社の2つの鑑賞地、さらに采女祭が総じて「日本百名月」に認定されました。

采女伝説

『大和物語』によると、「奈良時代に帝に仕えていた采女が帝のご寵愛が衰えたのを嘆き、猿沢池の畔の柳の木に衣を掛けて池に身を投げてしまった。それを哀れに思われた帝が、その霊を慰めるために社をお建てになったが、わが身を投じた池を見るにしのびないと、一夜のうちに社を後ろ向きにした」と伝えられています。

采女神社の不思議

お社が後ろ向きに！？池に身を投げた采女は、自分が身を投げた池を見るのは辛く、一夜のうちにお社をくるりと後ろ向きに。

でも…今は、縁結びの神様。悲恋の伝説が残されていますが、後に、采女は、人々には自分と同じ悲しい思いをしてほしくないと、縁結びの神様に♡



写真提供:春日大社

「采女(うねめ)」とは、奈良時代に宮中で帝(天皇)のお世話をしていた女性です。

采女神社



「猿沢池の月」は、奈良の美しい景色・南都八景のひとつです！



猿沢池の碑

猿沢池

興福寺五重塔

五十二段

九重石塔



衣掛柳の石碑

興福寺では、毎年4月に猿沢池に魚を放して供養する「放生会」が行われます。



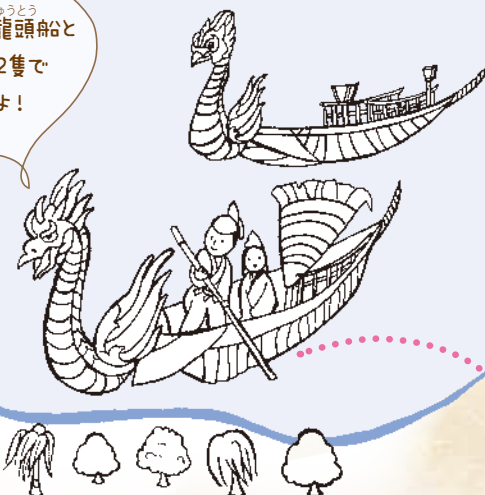
采女はここにあった柳に衣をかけて池に身を投げたといわれています。

ここから望む興福寺五重塔は、絶景だよ！



写真スポット！

管絃船は、龍頭船と鶴首船の2隻で一対だよ！



動画で見る！

采女祭・采女伝説



采女祭

采女祭は、毎年中秋の名月に行われる春日大社末社・采女神社の例祭で、采女の霊を慰め、同時に人々の幸せを祈ります。

午後5時からの花扇奉納行列では、秋の草花で美しく飾られた2m余りの花扇を載せた車を中心に、十二単姿の花扇使や天平衣装をまとった人々総勢約200名が市内を練り歩きます。

午後6時から采女神社において、春日大社神職による厳かな神事が行われ、午後7時に南都楽所の奏する雅楽が流れる中、2隻の管絃船が猿沢池を巡り、最後には花扇を池中に投じる雅やかな行事です。

令和5年 9月28日(木)

●宵宮祭 17時～(采女神社)

令和5年 9月29日(金)

●花扇奉納行列 17時～(JR奈良駅～采女神社)

●例祭(花扇奉納神事) 18時～(采女神社)

●管絃船の儀 19時過ぎ～(猿沢池)

花扇奉納神事終了後に公演(猿沢池)
特別公演「ろた語り」

「采女ものがたり」

・うた語り/中橋怜子・笛/又吉奈緒子



花扇奉納行列

猿沢池の七不思議

「澄まず濁らず出ず入らず蛙はわかず
藻は生えず魚が七分に水三分」

「猿沢池の水は、決して澄むことなく、また濁ることもない。常に一定の水量を保っていて、なぜか蛙はいないし、藻も生えない。毎年多くの魚が放たれるのに溢れる様子がない池。」と昔から伝えられています。

龍神伝説

こんな伝説もあるよ！

猿沢池には大昔、龍神さまが住んでおりました。しかし、采女が、猿沢池に身を投げてしまい、池がけがれてしまったため、龍は春日山の龍王池に移り、さらに最後は奈良県宇陀市の室生の龍穴へ移ったといわれています。

お月見にオススメ!
スイーツ店

江戸時代より、月が一番きれいに見られる十五夜(中秋の名月)には、お団子やススキなどを供え、穀物の収穫に感謝をささげたとわれています。今年の中秋の名月は、9月29日。美しい月を眺めながら、おいしいお菓子とともにお月見をしてみたいと思いませんか？

※掲載内容は2023年8月現在のものです。
※表示価格はすべて税込価格・テイクアウト価格です。
※新型コロナウイルスの影響などにより、営業時間・定休日等が記載と異なる場合があります。事前に店舗へご確認の上、お出かけください。

1 寛永堂 奈良本店 2 寛永堂 JR奈良店

寛永7年(1630)創業の、丹波で自家焙煎した黒豆を使った菓子などが人気の和菓子店です。お月見だんごの舌触りの良い餡は、月にかかる叢雲をかたどっており、秋の風情を楽しめます。

- お月見だんご 1個 230円
- 販売期間: 9/26(火)~9/29(金)



奈良本店



JR奈良店



【奈良本店】
奈良市東向中町4
☎ 0742-25-5282
営 9:00~20:00 休 年中無休

【JR奈良店】
奈良市三条本町1-1(ピエラ奈良2階)
☎ 0742-20-1623
営 9:00~20:00 休 年中無休

3 鹿野

奈良県産の食材にこだわり、丁寧に焼き上げた鹿野自慢のバームクーヘンと一緒に、大和茶クリームと栗餡を求肥で包んだクリーム大福をぜひご賞味ください。



- 月見大福 1個 450円
- 販売期間: 9/26(火)~9/29(金)

奈良市油阪地方町5 マツヤマビル1F
☎ 0742-24-0090 営 10:00~20:00 休 年中無休

4 たまうさぎ (近鉄奈良駅構内)

地元で愛される奈良のきなこ団子の名店。奈良県産「ヒノヒカリ」の米を挽くことから始まり、丁寧につき、秘伝の蜜をからめて、でき立てのきな粉をまぶして、1本ずつ手作りしています。お月見のお供にぜひ。



- きなこだんご 5本500円~1箱(10本入)1,000円
- 販売期間: 通年

奈良市東向中町29 近鉄奈良駅B1F
☎ 0742-41-6610(本店)
営 10:00~18:00(売り切れ次第終了) 休 月・火曜日

10 鶴屋徳満 本店 11 鶴屋徳満 三条通店

猿沢池近くの鶴屋徳満自慢のこし餡で団子をまいた月見だんごと香ばしいきな粉をまぶしたわらび餅をご用意しました。2つの味わいを楽しみながらご賞味ください。130年ぶりに本店をリニューアルし茶寮を併設しました。

- 月見だんご&わらび餅 1箱 810円
- 販売期間: 9/26(火)~9/29(金)



本店



三条通店



【本店】
奈良市下御門町29
☎ 0742-23-2454
営 9:30~18:00 休 木曜日

【三条通店】
奈良市角振新屋町4
☎ 0742-27-0353
営 10:00~18:00 休 木曜日

5 御菓子司 萬勝堂

明治23年(1890)創業、馴染みのある昔ながらの月見団子で、歯切れのよい団子をあっさりとした焼き上げた「こし餡」で包んでいます。十五夜の1日限定で販売される特別な一品です。



- お月見団子 1個170円~ 1箱(5個入)850円
- 販売期間: 9/29(金)のみ

奈良市東向中町24-1
☎ 0742-22-2502 営 10:00~18:00 休 年中無休

7 千代の舎 竹村

「さるさわの月」は、バターと卵のたっぷり入った白あんを、クッキー生地であっさり包み込んで、猿沢池の上空に浮かぶ名月に見立てたお饅頭です。和洋マリアージュの味をお楽しみください。



- さるさわの月 1個185円~ 1箱(6個入)1,150円
- 販売期間: 通年

奈良市東向中町22
☎ 0742-22-2325 営 10:00~17:00 休 木曜日

9 大いいちご



“奈良の美味しい果物を多くの人に”そんな思いを込めて三条通りで、イチゴ大福と果物の販売店を営んでいます。奈良で収穫された、新鮮で美味しい果物を厳選して、農家さんから直送で仕入れています。 ※6月~10月まで国産夏イチゴ使用



奈良市上三条町4-1 ☎ 0742-42-6284 営 11:00~19:00 休 不定休

- 月見大福 1個 300円
- 販売期間: 9/26(火)~9/29(金)

12 御菓子処 優月

材料を吟味し素材を生かした昔ながらの製法で、新鮮・手作りをこだわりとした、創業17年目を迎える和菓子店。団子をあっさりとしたこし餡で包み里芋の形に仕上げられた月見だんごです。

- 月見だんご 1個 170円
- 販売期間: 9/26(火)~9/29(金)



奈良市餅飯殿町37-1
☎ 0742-23-2945 営 9:30~18:00 休 不定休

13 絵図屋

奈良の良いものを揃えた土産店。色とりどりのサクサク「おいり」と、かわいいうさぎクッキーをトッピングした「お月見おいりアイス」。アイスの味は10種類から選べます。



奈良市餅飯殿町5 ☎ 0742-23-3131 営 11:00~18:00(土曜日~19:00) 休 水曜日

- お月見おいりアイス 1個 450円
- 販売期間: 9/26(火)~9/29(金)



お願い

絵馬は、采女神社に奉納できますが、神社には願い事を書いていただくための利用スペースは設けておりませんので、各自事前にご記入の上、ご奉納ください。

お月見豆知識

今は月見といえば十五夜ですが、昔は翌月の十三夜(旧暦9月13日)にもお月見をするのが一般的でした。お供えするのも、団子ではなく、芋や豆・栗。そのため十五夜は「芋名月」、十三夜は「栗名月」「豆名月」とも呼ばれます。団子をお供えするようになったのは、江戸時代頃から。関東では白い団子をピラミッド型に積み、関西では「月に叢雲」をイメージして、栗型の団子にこし餡を巻くのが一般的です。

